

## 資料 8. 教育活動の概要

教育活動は、学部教育、大学院の両方を行っていますが、大学院の教育が主体となっています。

### 8.1 学部教育

東京大学医学部医学科の「医療情報学講義」において、「医学文献情報学」を担当しています。また同健康総合学科の「ヘルスコミュニケーション学講義」において、「公衆衛生上のヘルスコミュニケーション」を担当しています。

### 8.2 大学院教育

#### 8.2.1 学位を取得できる大学院専攻

課程名称	公共健康医学専攻 (専門職大学院)	社会医学専攻	健康科学・看護学専攻
区分	専門職修士課程	博士課程	博士課程
取得できる学位の名称	公衆衛生学修士	博士(医学)	博士(保健学)
修業年限	2年または1年 (実務経験による)	4年	3年
受験資格の概要	大学等の卒業生	6年生の学部卒業生： 大学等卒業生 4年生の学部卒業生： 大学院修士課程等修了者	大学院修士課程等の 修了者

#### 8.2.2 公共健康医学専攻(専門職修士課程)における講義・演習

医療コミュニケーション学講義(公共健康医学専攻) 2単位

医療コミュニケーション学演習(公共健康医学専攻) 2単位

医学研究データマネジメントとCDISC標準(公共健康医学専攻、情報学環生物統計情報学コース)  
1単位

#### 8.2.3 医学博士課程における講義・演習

生物学の哲学入門(医学博士課程医学共通講義) 2単位

## 8.2.4 公共健康医学専攻（専門職修士課程）・医学博士課程社会医学専攻・健康科学看護学専攻後期博士課程共通

医療コミュニケーション学分野研究会・輪読会（毎週1回、各2時間）

- 1) 大学院生の研究に関する討議
- 2) ヘルスコミュニケーション学の英文書籍を輪読
- 3) ヘルスコミュニケーション学の英文論文

## 8.3 大学院生の在籍状況

### 現大学院生

浅井 文和	社会医学専攻博士課程 4年
藤友 結実子	社会医学専攻博士課程 4年
澤田 なおみ	社会医学専攻博士課程 4年
長尾 日香里	社会医学専攻博士課程 3年
山下 麻梨絵	社会医学専攻博士課程 2年
鄒 紫薇	社会医学専攻博士課程 2年
劉 明シン	社会医学専攻博士課程 2年
寺田 万莉奈	健康科学・看護学専攻博士課程 2年
長澤 知魅	健康科学・看護学専攻博士課程 2年
ネット・ウンラーツティテープ	健康科学・看護学専攻博士課程 2年
千葉 宏依	社会医学専攻博士課程 1年
西家 由里子	社会医学専攻博士課程 1年
山田 裕子	健康科学・看護学専攻博士課程 1年
大山 利栄	公共健康科学専攻専門職修士課程 1年
金 珉廷	公共健康科学専攻専門職修士課程 1年
小針 諄也	公共健康科学専攻専門職修士課程 1年
ルイーザ・マリア・ゴメス	公共健康科学専攻専門職修士課程 1年

### 現研究生

ヌルリサ・ハスミン・ビンティ・モハマド・ヒシャム

### 大学院博士課程修了者（勤務先は、研究職の人のみ）

別府 文隆	社会医学専攻博士課程 2008年度修了
大野 直子	社会医学専攻博士課程 2011年度修了 順天堂大学国際教養学部・大学院医学研究科准教授

湯川 慶子	健康科学・看護学専攻博士課程 2011 年度修了 国立保健医療科学院疫学・統計研究部上席主任研究官
榎原 圭子	健康科学・看護学専攻博士課程 2012 年度修了 東洋大学社会学部准教授
朴 敏廷	健康科学・看護学専攻博士課程 2012 年度修了 大韓民国建陽大学校助教授
本間 三恵子	健康科学・看護学専攻博士課程 2012 年度修了 埼玉県立大学保健医療福祉学部准教授
穴沢 良子	社会医学専攻博士課程 2013 年度修了 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野客員研究員
加藤 美生	社会医学専攻博士課程 2013 年度修了 国立感染症研究所感染症危機管理研究センター主任研究官
上野 治香	社会医学専攻博士課程 2014 年度修了 帝京平成大学健康メディカル学部講師
奥原 剛	社会医学専攻博士課程 2014 年度中退 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野准教授
原木 万紀子	社会医学専攻博士課程 2015 年度修了 Tallinn University Postdoctoral fellow
千葉 俊之	社会医学専攻博士課程 2018 年度修了
岡田 宏子	健康科学・看護学専攻博士課程 2019 年度修了 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野特任助教
後藤 英子	社会医学専攻博士課程 2020 年度中退 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野特任助教
香川 由美	社会医学専攻博士課程 2020 年度修了 岩手医科大学教養教育センター心理学・行動科学助教
常住 亜衣子	社会医学専攻博士課程 2020 年度修了 明治薬科大学准教授
横田 理恵	健康科学・看護学専攻博士課程 2022 年度修了 星薬科大学教養教育研究領域医療コミュニケーション学専任講師
調 律子	社会医学専攻博士課程 2023 年度修了 東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワークセンター特任助教
古川 恵美	社会医学専攻博士課程 2023 年度修了 東京大学医学部附属病院大学病院医療情報ネットワークセンター特任助教

**大学院専門職修士課程修了者（勤務先は、研究職の人のみ）**

銭谷 聖子	公共健康医学専門職修士課程 2008 年度修了
-------	-------------------------

常住 亜衣子	公共健康医学専門職修士課程 2012 年度修了 明治薬科大学准教授
堀越 早織	公共健康医学専門職修士課程 2012 年度修了 千葉大学医学部附属病院次世代医療構想センター特任助教
LAI YUANHONG ALDEN	公共健康医学専門職修士課程 2012 年度修了 Assistant Professor, School of Global Public Health, New York University
奥原 剛	公共健康医学専門職修士課程 2014 年度修了 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野准教授
後藤 英子	公共健康医学専門職修士課程 2015 年度修了 東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学分野特任助教
細川 千鶴	公共健康医学専門職修士課程 2015 年度修了
町田 夏雅子	公共健康医学専門職修士課程 2017 年度修了
浅井 文和	公共健康医学専門職修士課程 2018 年度修了 東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻博士課程
石原 江理	公共健康医学専門職修士課程 2018 年度修了
田中 孝志郎	公共健康医学専門職修士課程 2018 年度修了
横田 理恵	公共健康医学専門職修士課程 2019 年度修了 星薬科大学教養教育研究領域医療コミュニケーション学専任講師
家 れいな	公共健康医学専門職修士課程 2021 年度修了
小俣 文弥	公共健康医学専門職修士課程 2022 年度修了
寺田 万莉奈	公共健康医学専門職修士課程 2022 年度修了 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士課程
長澤 知魅	公共健康医学専門職修士課程 2022 年度修了 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士課程
西家 由里子	公共健康医学専門職修士課程 2022 年度修了 東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻博士課程
山田 裕子	公共健康医学専門職修士課程 2023 年度修了 東京大学大学院医学系研究科社会医学専攻博士課程

## 8.4 学位論文題名

### 8.4.1 博士課程学位論文

\*社会医学専攻は、「博士（医学）」、健康科学・看護学専攻は、「博士（保健学）」の学位を授与される。

## 2008年度

別府 文隆： 博士（医学）

「purposive（目標的）なヘルスコミュニケーション方法の開発と評価：疫学調査における映像マスメディアの活用」

## 2011年度

大野 直子： 博士（医学）

「Development and Evaluation of a Novel Education Method for Training Medical Interpreters（医療通訳養成システムの開発、評価）」

湯川 慶子： 博士（保健学）

「慢性疾患患者から見た代替医療の利用をめぐる主治医とのコミュニケーションに関する研究」

## 2012年度

朴 敏廷： 博士（保健学）

「Decay of impact after a health education program for people with chronic diseases: preparing for reinforcement by analysis of prevalence, magnitude, timing, and predictors of decay（慢性疾患患者における健康教育プログラム実施後の decay of impact：decay のタイミング、割合、大きさ、および予測因子の分析から）」

榊原 圭子： 博士（保健学）

「メンタリングと精神健康、職務満足感、ワークライフコンフリクトの関連性—企業で働く管理職とその予備軍における検討—」

本間 三恵子： 博士（保健学）

「線維筋痛症に対する患者と医師の病気認識—両者のギャップおよび患者満足度、医師の困難感との関連性の検討」

## 2013年度

穴沢 良子： 博士（医学）

「Evaluation and use of online machine translation of nursing literature in Japanese nursing population（看護学文献を用いたオンライン機械翻訳：看護ユーザの評価と利用状況に関する研究）」

加藤 美生： 博士（医学）

「Influence of news articles on the public's motivation to take preventive measures during influenza pandemic（住民のインフルエンザパンデミック予防動機へのニュース記事の影響）」

## 2014年度

上野 治香： 博士（医学）

「2型糖尿病患者のヘルスリテラシーが自己管理に与える影響に関する研究」

## 2015年度

原木 万紀子： 博士（医学）

「ヘルスコミュニケーションにおけるイラストレーションの効果的な活用の検討:小学校高学年に対する教育教材作成を通して」

## 2017年度

博士（医学）

「ポジティブ・サイコロジーに基づいた慢性疾患の受容尺度（Positive Psychology-Based Acceptance of Illness Scale: PAIS）の開発：HTLV-1 関連脊髄症（HAM）患者を対象として」

## 2018年度

千葉 俊之： 博士（医学）

「頸髄損傷者の障害受容についての検討」

## 2019年度

岡田 宏子： 博士（保健学）

「慢性疾患を持つ高齢者を対象としたアドバンス・ケア・プランニングに関する研究」

## 2020年度

香川 由美： 博士（医学）

「医学部卒前教育における「患者の語り」を活用した医学生への患者への共感の醸成」

常住 亜衣子： 博士（医学）

「かかりつけ薬局における薬剤師と慢性疾患を有する高齢患者のコミュニケーションが患者満足度に与える影響の検討」

## 2021年度

後藤 英子： 博士（医学）

「Associations between presenteeism and job and workplace factors, personal factors, and health and physical factors among general employees in Japan（日本の一般従業員におけるプレゼンティーズムと労働職場関連因子、個人的因子および健康関連因子との関連）」

## 2022年度

横田 理恵： 博士（保健学）

「Examining the relationship between stigma and mental health among women undergoing infertility treatment in Japan (日本における不妊治療を受ける女性のスティグマと 精神的健康の関係に関する研究)」

#### 2023 年度

調 律子： 博士 (医学)

「Pregnancy-related anxiety and associated factors in the early stages of pregnancy (妊娠初期の妊娠に関連する不安とその背景因子に関する研究)」

古川 恵美： 博士 (医学)

「Examining understandability and actionability of patient education materials related to chronic kidney disease in Japan (慢性腎臓病に関する日本国内の患者市民向け資料の理解しやすさ・行動しやすさに関する研究)」

#### 2024 年度

澤田 なおみ： 博士 (医学)

「Family-Centered Care and associated factors in asthma treatment for patients under 5 years of age:A cross-sectional study in Japan (日本の5歳以下の喘息診療における Family-Centered Care とその関連因子)」

### 8.4.2 論文博士学位論文

#### 2018 年度

奥原 剛： 博士 (保健学)

Persuasiveness of statistics and patient's and mother's narratives in HPV vaccine communication: A randomized controlled study in Japan (子宮頸がん予防ワクチンのコミュニケーションにおける統計データ, 患者・母の体験談の影響力の検討: 無作為化比較試験)

### 8.4.3 専門職修士課程 (公共健康医学専攻) 課題研究論文

#### 2008 年度

錢谷 聖子

「企業食堂での購買履歴を用いた肥満傾向予測モデルの開発と評価」

#### 2012 年度

常住 亜衣子

「医学教育における医師・患者間コミュニケーションスキル評価尺度: 文献レビューからの考察」

堀越 早織

「マスメディアによる健康リスクコミュニケーション：福島第一原発事故後の水道水汚染問題に関する新聞報道の内容分析」

LAI YUANHONG ALDEN

「Communicative and Critical Health Literacy, and Self-management Behaviors in Diabetic End-Stage Renal Disease Patients on Hemodialysis」

## 2014 年度

奥原 剛

「Suitability and persuasiveness assessment of cancer screening announcements in municipal newsletters in Japan (自治体広報新聞のがん検診案内記事の適切性と説得性の評価)」

## 2015 年度

後藤 英子

「Relationship of health literacy and work environment to following recommendations to visit a physician after health checks among Japanese employees (日本人労働者におけるヘルスリテラシーと労働環境、受診勧奨後の受診行動との関連)」

細川 千鶴

「The relationship of gender role orientation with health literacy and self-efficacy for healthy eating among Japanese in early adulthood (日本人の成人期前期における性役割志向と健康的な食生活のヘルスリテラシー及びセルフエフィカシーの関連)」

## 2017 年度

町田 夏雅子

「受動喫煙規制に関する新聞記事の内容分析」

## 2018 年度

浅井 文和

日本におけるがんに関する新聞記事 31 年間の計量テキスト分析

石原 江理

子どもに歯磨きを促す絵本の内容分析

田中 孝志郎

インターネット上の健康医療情報の拡散 (Electronic Word-of-Mouth) に関する文献的考察

## 2019 年度



横田 理恵

「不妊のリスク因子に関するインターネット上の情報の内容分析」

## 2021 年度

家 れい奈

「The Effect of Exposure to “Exemption” Video Advertisements for Functional Foods : A Randomized Control Study  
(健康食品の“免罪符型” 動画広告が視聴者に与える影響の評価：ランダム化比較研究) 」

## 2022 年度

小俣 文弥

「UMIN 臨床試験登録システムへの介入試験の登録内容とその出版物の公表内容の比較研究  
(Comparison of publication versus registry; focus on interventional trials registered in UMIN CTR)」

寺田 万莉奈

「Public Perception Before and After the News Reports of Resuming Proactive Recommendation for HPV Vaccine After 8.5 years in Japan: Content Analysis on Twitter (8.5 年ぶりに日本で再開される HPV ワクチンの積極的勧奨に関する報道前後の人々の認識:Twitter における内容分析)」

長澤 知魅

「Print materials to promote physical activities in Japan: Content analysis from a goal theory (日本における身体活動の啓発資材：目標理論を用いた内容分析)」

西家 由里子

「性感染症患者の不安と満足度に関する対面診療と電話診療における比較 および関連因子の検討  
(Comparison of Anxiety and Satisfaction of Patients with Sexually Transmitted Diseases between Face-to-Face and Telephone consultation and Examination of their Related Factors)」

## 2023 年度

山田 裕子

「HPV ワクチン説明資料の理解しやすさと行動しやすさの評価」

## 2024 年度

大山 利栄

「The Quality Assessment of Medical Institutions’ Websites Regarding Prescription Drug Misuse of GLP-1RAs Off-label Use GLP-1 (受容体作動薬の適応外使用に関する医療機関ウェブサイトの情報の質の評価)」